



地域の元気度は回復の兆し 「商店街の活気」が地域の元気を取り戻す決め手

長引くコロナ禍の状況下、地域への回帰と再評価が地域の元気度を回復、
地域での暮らし時間とおうち時間の充実が幸福感を増大させた

全国「地域元気指数調査2021」発表

株式会社アール・ピー・アイ(所在地:千代田区 代表取締役:長澤 博英)は、**住民自身が地域の元気度、幸せ度を評価する「全国『地域元気指数調査』」**を2016年より毎年実施しています。

6回目となる今回は、コロナ2年目という状況下、「地域元気指数」はコロナ前の水準に回復、「幸せ指数」は過去6年間で最高値となりました。この結果はオンラインコミュニケーションの拡大、テレワークの普及による働き方の変化、娯楽・レジャーや暮らしの活動範囲が狭まった中でもできることを見つけ出すような生活スタイルの変容が背景にあるものと考えられます。

これらの変化によってもたらされた地域への回帰と再評価は、地域の元気度を回復させ、地域での買い物や楽しみといった暮らし時間の充足、おうち時間の充実が幸福感を増大させました。また、地域元気指数と幸せ指数は居住地の人口規模、性・年代によっても違いがあることが明らかになりました。

■「地域元気指数」「幸せ指数」とは

全国の男女約10万人を対象に、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気か、自分がどのくらい幸せかを1~10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。指数に換算することで地方公共団体などの施策立案などに活用されています。

[調査サマリー]

■地域元気指数はコロナ禍前の水準に回復。幸せ指数は過去6年間で最高値に。

2020年から2021年で、**地域元気指数(5.52→5.64)**、**幸せ指数(6.04→6.15)**ともに上昇。自粛を余儀なくされ地域の元気度が落ち込んだ前年に対し、新しい生活スタイルを充実して楽しみを見出すようになってきたと推察される。

■男性20代・女性30代で幸せ感・地域を元気と感じる指数が増加、新しい生活スタイルをいち早く確立している。

前年差をみると**男性20代や女性30代で幸せ感・地域元気度が伸びている**。コロナ禍が長引く中、新しい生活スタイルをいち早く確立している世代かもしれない。

■「移住者の増加」「新しい店の増加」から地域の元気を感じる一方、地域コミュニティのつながりが弱まっていることが懸念される。

前年比で評価の高まった要素は、「新しい店が増えている」「移住者が増えている」など。一方、評価の低下した要素は、「地域の祭りやイベント」「地域一体となった取り組み」など。

■「商店街の活気」は地域の元気を取り戻すための決め手となる。

地域が元気であるために重要と思う要素は「商店街の活気」が最も多くの回答を得たものの、「商店街に活気がある」と感じる割合は他の要素に比べて低く、ギャップが大きい。

本リリースの調査データを以下にアップしております。

https://rpi.co.jp/chiiki-genki/genki_summary/

●全国「地域元気指数調査2021」に関するお問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル3階
E-mail:genki@rpi.co.jp 電話:03-5212-3411

地域の元気度は回復の兆し

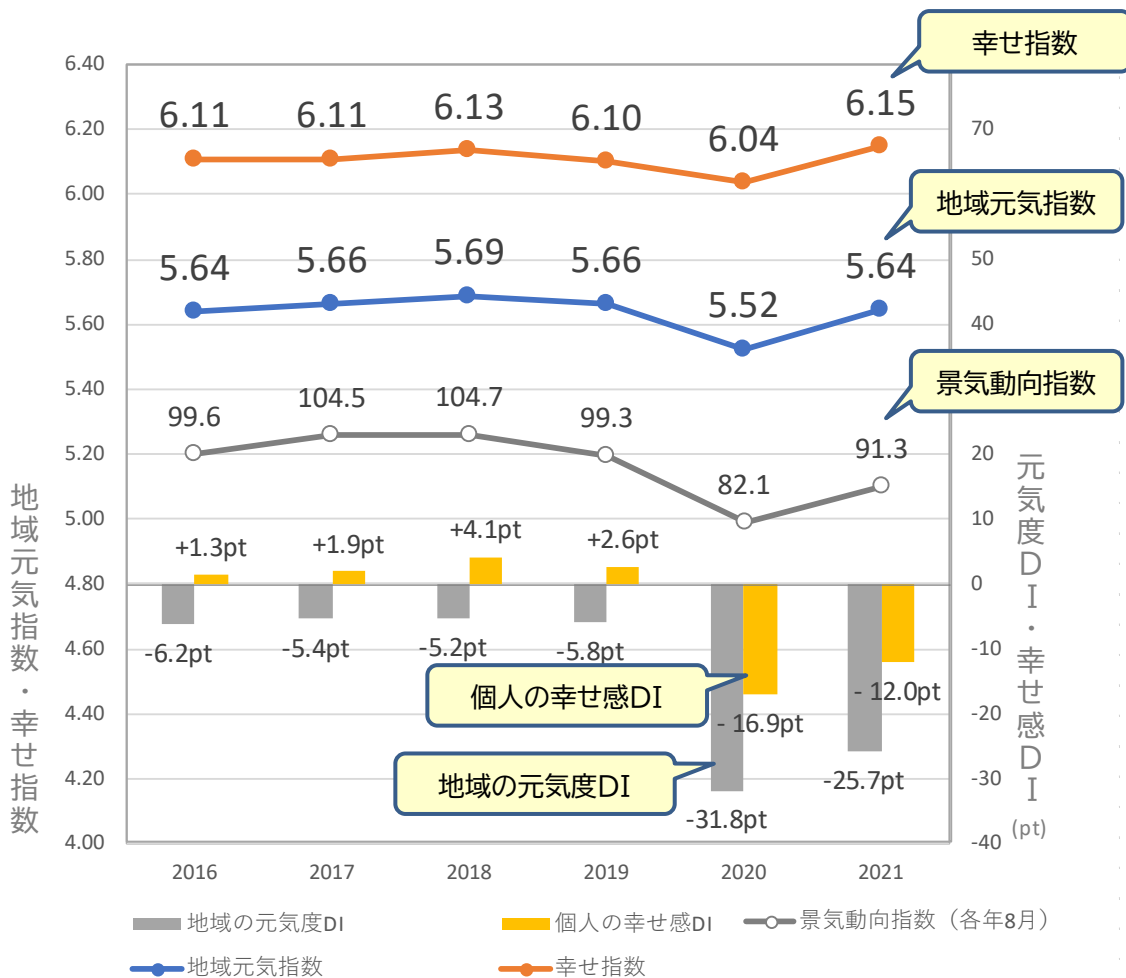
幸せ感はコロナ禍前を超え、新しい生活スタイルの中で幸せを見出している

地域元気指数は前年に比べ上昇。調査開始以来最も高かった2018年には及ばないが、コロナ禍前の2019年の水準に回復した。

幸せ指数も上昇。調査開始以来、最高値となった。

コロナ禍における初めての夏を迎えた前年2020年8月の調査時は、多くの人が自粛を余儀なくされ、地域の活気の低下や元気の落ち込みを感じていたのに対し、2021年8月の調査時は、感染者増の状況下ではあったものの、オリンピック開催などに明るい兆しを感じ、コロナ禍の新しい生活スタイルの中で幸せを見出すようになってきたと推察される。

■地域元気指数・幸せ指数の推移



※DI(デフォニション・インデックス):対前年からの変化の方向性を示す指数
「増えた」の回答割合-「減った」の回答割合で算出

2. 性年代別、都道府県別の地域元気度と幸せ度

全国「地域元気調査2021」

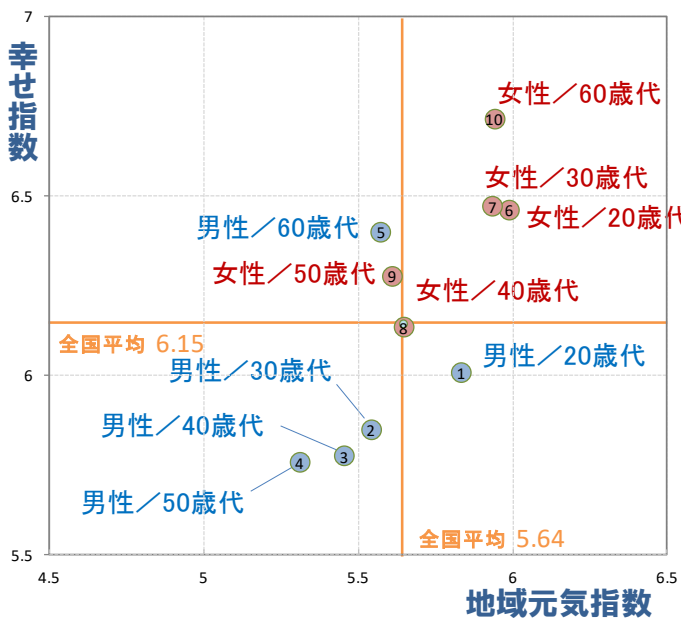
男性20代・女性30代は、幸せ感や地域を元気と感じる指数が伸びており、新しい生活スタイルをいち早く確立している

性年代別にみると、幸せ指数・地域元気指数ともに女性のほうが高い傾向にあり、女性60代が最も幸せを感じている。次いで女性20～30代が高く、一方、男性30～50代において低い。この傾向は過去調査においてもみられたが、前年差をみると男性20代や女性30代で幸せ感・地域元気度が伸びている。コロナ禍が長引く中、新しい生活スタイルをいち早く確立している世代かもしれない。

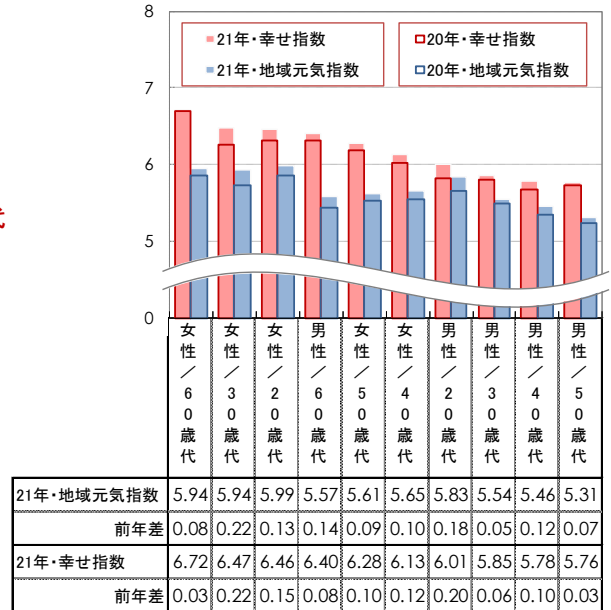
都道府県別にみると、元気指数は北が低く南が高い傾向にある。この傾向は過去も同様であったが、前年からの増加幅は九州地方の各県で高く、南高北低の傾向が顕著になっている。

■性年代別 地域元気指数・幸せ指数

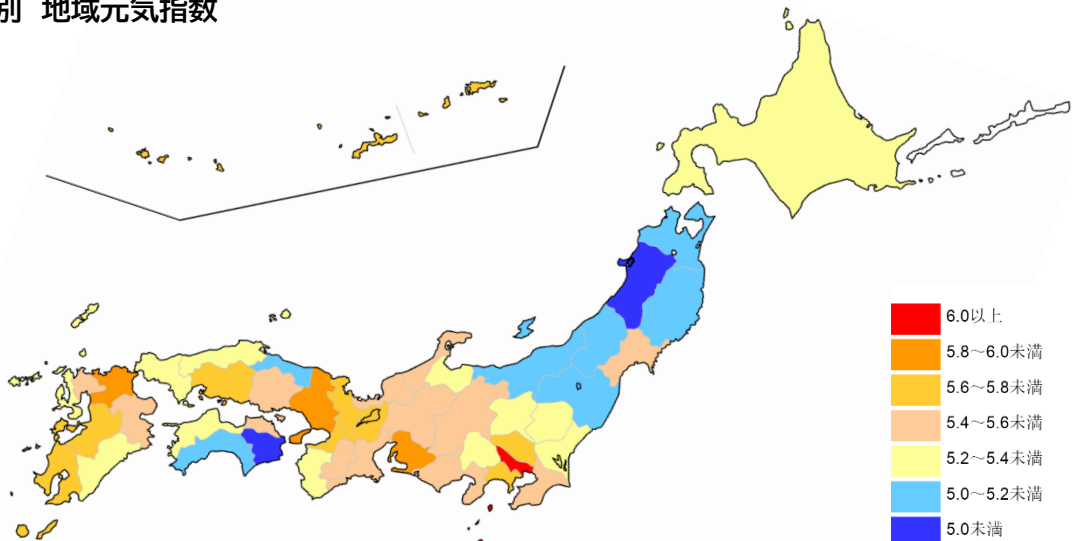
●散布図



●前年差 ※21年・幸せ指数の高い順に並べ替え



■都道府県別 地域元気指数



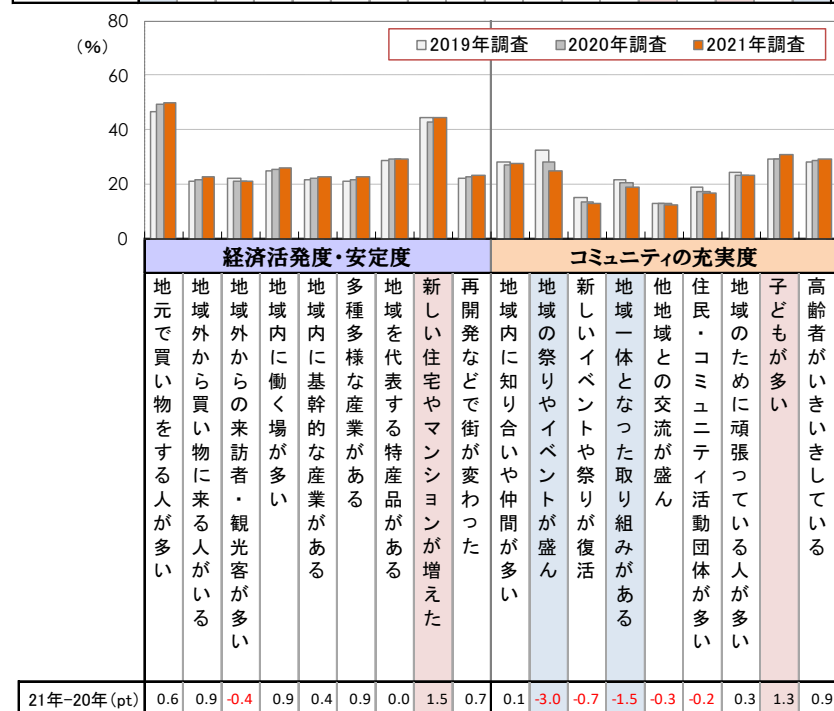
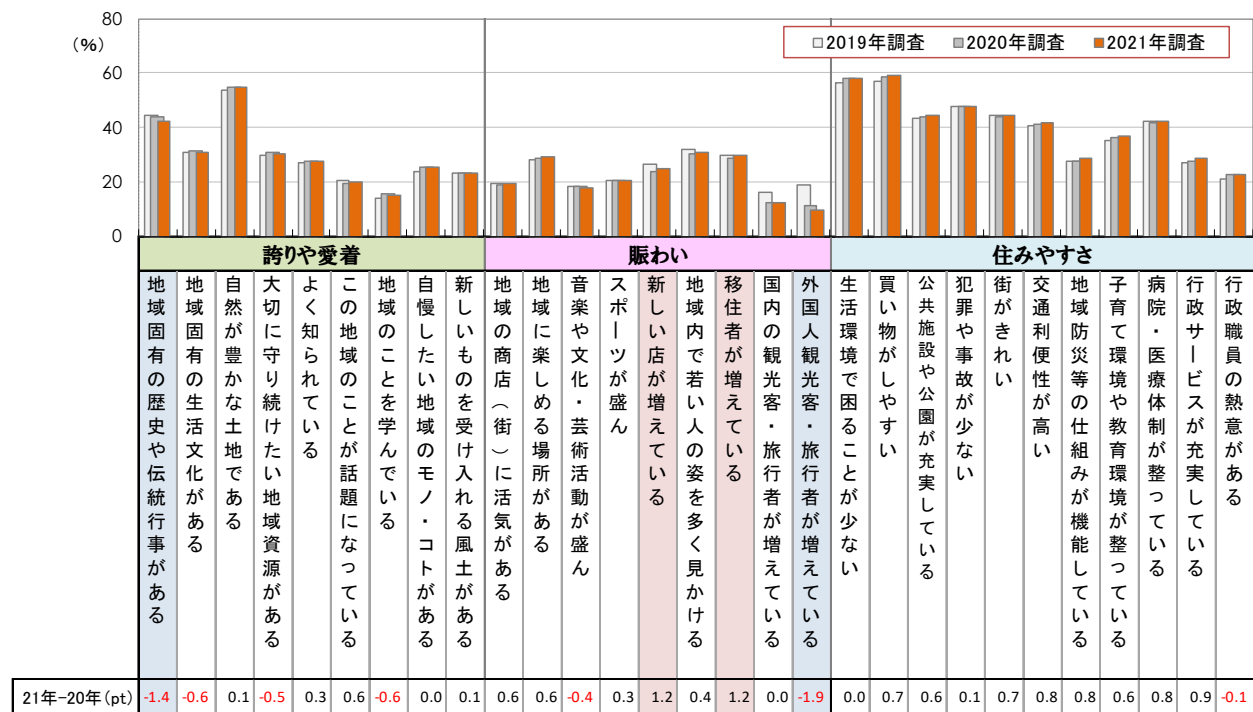
移住者が増え、新しい店が目に残るようになった一方で、地域コミュニティのつながりが弱まっていることが懸念

居住地域について、47の要素に対する評価を尋ねたところ、「新しい店が増えている」「移住者が増えている」などに対する評価が前年比で高まっており、テレワークの普及が進んだことで移住への関心が高まったことや、僅かずつでも新規開業の店が目に残るようになってきたことが推察される。

また、前々年からの変化では「地元で買い物をする」が伸びており、地域での暮らし時間が延びている。

一方、前年比で評価の低下した要素は、「地域の祭りやイベント」「地域一体となった取り組み」などであり、前年に引き続き、地域コミュニティのつながりが弱まってきていることが懸念される。

■地域元気の評価47要素 前年差（それぞれ単一回答／「当てはまる」「やや当てはまる」の合計）



■ 前年より1pt以上増加
■ 前年より1pt以上減少

「商店街の活気」は、地域に元気を取り戻すための決め手

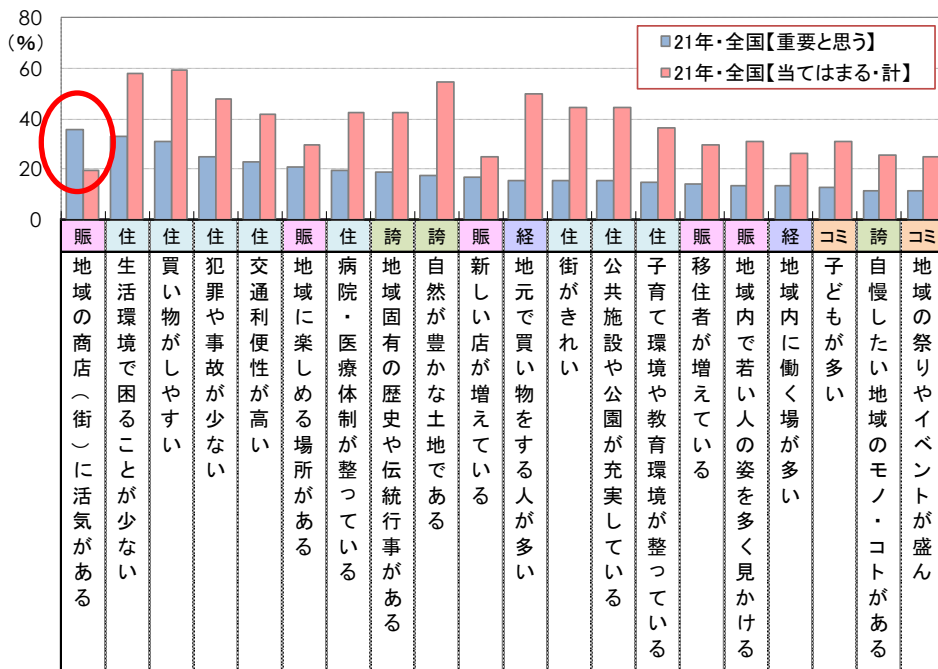
人口規模が小さいほど「商店街の活気づくり」と「働く場の拡充」が最重要課題

地域が元気であるために重要と思う要素を、地域に対する評価47要素の中から8つまで選んでもらったところ、「商店街の活気」が最も多くあげられた。ところが「商店街に活気がある」と感じている割合は他の要素に比べて低く、ギャップが大きい。「商店街の活気」は、多くの地域で享受しにくくなっているものの、地域の元気を創出するととても重要な要素であると言える。

人口規模別にみると、人口規模の小さい地域ほど「商店街の活気」について、重要度と評価のギャップが大きく、同様に「地域の働く場」のギャップも大きい。人口規模の小さい地域では、「商店街の活気」と「働く場」を創出する方策が特に重要と考えられる。

■地域が元気であるために重要と思う要素・上位20

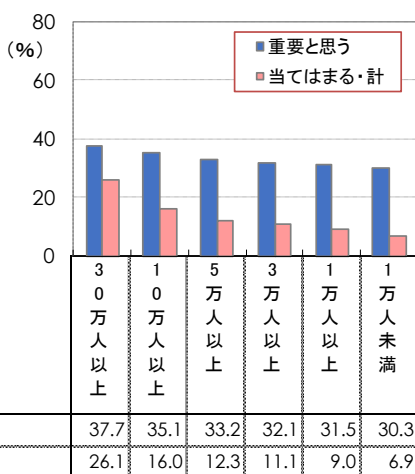
(重要と思う要素は8つまでの複数回答、評価47要素は5段階評価のうち「当てはまる・計」の割合)



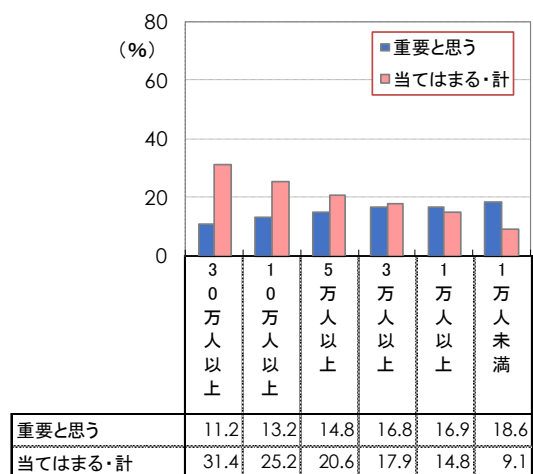
「当てはまる・計」:「当てはまる」「やや当てはまる」の合計

■人口規模別 重要度と評価のギャップ

●地域の商店(街)に活気がある



●地域内に働く場が多い



5. 元気度・幸せ度ランキング

■元気度 都道府県ランキング

()内は前年調査結果

順位	都道府県名 サンプル数	地域元気指数
1位 ← (1位)	東京都 n=5,156	6.13 ↘ (5.90)
2位 ↗ (4位)	福岡県 n=4,046	5.95 ↗ (5.79)
3位 ↘ (5位)	兵庫県 n=3,843	5.85 ↘ (5.74)
4位 ↘ (7位)	愛知県 n=6,968	5.82 ↘ (5.67)
5位 ↗ (3位)	神奈川県 n=3,443	5.79 ↗ (5.81)
6位 ↘ (23位)	熊本県 n=1,091	5.77 ↘ (5.32)
7位 ↘ (8位)	大阪府 n=6,234	5.76 ↘ (5.66)
8位 ↗ (2位)	沖縄県 n=1,470	5.73 ↗ (5.83)
9位 ↘ (11位)	埼玉県 n=7,165	5.70 ↘ (5.55)
10位 ↗ (6位)	京都府 n=1,989	5.69 ↗ (5.70)
全国平均 n=100,000		5.64 ↘ (5.52)

■幸せ度 都道府県ランキング

()内は前年調査結果

順位	都道府県名 サンプル数	幸せ指数
1位 ↘ (14位)	福岡県 n=4,046	6.41 ↘ (6.10)
2位 ↘ (9位)	東京都 n=5,156	6.37 ↘ (6.14)
3位 ↘ (4位)	奈良県 n=2,162	6.36 ↘ (6.19)
4位 ↗ (1位)	沖縄県 n=1,470	6.32 ↘ (6.28)
5位 ↘ (9位)	鹿児島県 n=1,107	6.31 ↘ (6.14)
5位 ↘ (19位)	大分県 n=951	6.31 ↘ (6.08)
7位 ↘ (28位)	熊本県 n=1,091	6.27 ↘ (5.97)
8位 ↗ (6位)	和歌山県 n=1,056	6.25 ↘ (6.16)
9位 ↗ (6位)	香川県 n=1,044	6.24 ↘ (6.16)
10位 ↘ (17位)	宮崎県 n=710	6.22 ↘ (6.09)
全国平均 n=100,000		6.15 ↘ (6.04)

■元気度 市ランキング

()内は前年調査結果

順位	市名 サンプル数	地域元気指数	市規模
1位 ← (1位)	愛知県長久手市 n=173	7.19 ↘ (7.02)	5万人以上の市
2位 ↘ (7位)	兵庫県西宮市 n=213	6.68 ↘ (6.41)	30万人以上の市
3位 ↘ (4位)	石川県野々市市 n=153	6.60 ↘ (6.56)	5万人以上の市
4位 ↗ (2位)	東京都武蔵野市 n=185	6.59 ↗ (6.63)	10万人以上の市
5位 ↘ (11位)	宮城県富谷市 n=112	6.58 ↘ (6.38)	5万人以上の市
6位 ↘ (7位)	神奈川県海老名市 n=205	6.56 ↘ (6.41)	10万人以上の市
7位 ↗ (3位)	大阪府箕面市 n=193	6.55 ↗ (6.57)	10万人以上の市
8位 ↘ (10位)	茨城県守谷市 n=129	6.54 ↘ (6.40)	5万人以上の市
8位 ↘ (19位)	千葉県流山市 n=216	6.54 ↘ (6.23)	10万人以上の市
10位 ↘ (17位)	福岡県福岡市 n=123	6.53 ↘ (6.25)	政令指定都市
ランキング対象「市」平均 n=79,252		5.71 ↘ (5.59)	

■幸せ度 市ランキング

()内は前年調査結果

順位	市名 サンプル数	地域元気指数	市規模
1位 ↘ (203位)	鹿児島県霧島市 n=123	6.90 ↘ (6.15)	10万人以上の市
2位 ↘ (287位)	山梨県富士吉田市 n=88	6.88 ↘ (6.04)	5万人未満の市
3位 ↘ (54位)	愛媛県伊予市 n=56	6.76 ↘ (6.38)	5万人未満の市
4位 ↘ (6位)	石川県かほく市 n=83	6.75 ↘ (6.63)	5万人未満の市
5位 ↘ (320位)	福岡県福岡市 n=123	6.74 ↘ (6.00)	政令指定都市
6位 ↘ (137位)	茨城県つくば市 n=170	6.68 ↘ (6.24)	10万人以上の市
7位 ↘ (17位)	愛知県長久手市 n=173	6.67 ↘ (6.50)	5万人以上の市
8位 ↘ (118位)	奈良県奈良市 n=182	6.66 ↘ (6.27)	30万人以上の市
9位 ↘ (16位)	福岡県大野城市 n=190	6.65 ↘ (6.51)	10万人以上の市
10位 ↘ (607位)	茨城県小美玉市 n=65	6.60 ↘ (5.23)	5万人未満の市
ランキング対象「市」平均 n=79,252		6.16 ↘ (6.04)	

■元気度 町村ランキング

()内は前年調査結果

順位	町村名 サンプル数	地域元気指数
1位 ← (1位)	福岡県新宮町 n=72	7.13 ↘ (6.95)
2位 ↘ (20位)	沖縄県北中城村 n=21	7.04 ↘ (6.17)
3位 ↘ (33位)	山梨県昭和町 n=47	6.92 ↘ (6.02)
4位 ↗ (2位)	熊本県菊陽町 n=61	6.90 ↘ (6.62)
5位 ↘ (11位)	茨城県境町 n=29	6.87 ↘ (6.27)
6位 ↘ (17位)	長野県軽井沢町 n=26	6.80 ↘ (6.21)
7位 ↘ (15位)	沖縄県北谷町 n=36	6.77 ↘ (6.24)
8位 ↘ (10位)	宮城県利府町 n=83	6.75 ↘ (6.31)
9位 ↘ (36位)	奈良県王寺町 n=44	6.66 ↘ (5.95)
10位 ↘ (40位)	宮崎県三股町 n=32	6.60 ↘ (5.90)
ランキング対象「町村」平均 n=9,659		5.51 ↘ (5.40)

■幸せ度 町村ランキング

()内は前年調査結果

順位	町村名 サンプル数	地域元気指数
1位 ↘ (2位)	沖縄県西原町 n=48	7.06 ↗ (7.20)
2位 ↘ (22位)	茨城県境町 n=29	7.05 ↘ (6.65)
3位 ← (3位)	福岡県新宮町 n=72	7.02 ↗ (7.11)
4位 ↘ (11位)	沖縄県北中城村 n=21	6.97 ↘ (6.88)
5位 ↘ (12位)	福岡県岡垣町 n=57	6.96 ↘ (6.85)
6位 -	岐阜県安八町 n=22	6.94 -
7位 ↘ (10位)	長野県御代田町 n=23	6.87 ↗ (6.90)
7位 ↘ (128位)	山梨県昭和町 n=47	6.87 ↘ (5.98)
9位 ↘ (77位)	愛知県幸田町 n=65	6.85 ↘ (6.21)
10位 ↘ (185位)	熊本県御船町 n=26	6.80 ↘ (5.58)
ランキング対象「町村」平均 n=9,659		6.15 ↘ (6.06)

※ランキング対象市町村の基準

○市: サンプル数が50件以上かつ人口3万人以上

○町村: サンプル数が20件以上かつ人口1万人以上

※東京特別区は、一体でカウント

※人口規模は、令和2年国勢調査速報時点での人口で分類

■ランキング対象市町村数(2021年10月1日時点)

○市: 602(全市の75.9%)

○町村: 228(全町村の24.6%)

計: 830市町村



～地域元気指数調査とは～

「地域元気指数(地域元気度)」は、全国の男女約10万人を対象に、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気を1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。

「幸せ指数(幸せ度)」は、同調査において、自分がいまどのくらい幸せかを1～10点で自己評価してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。

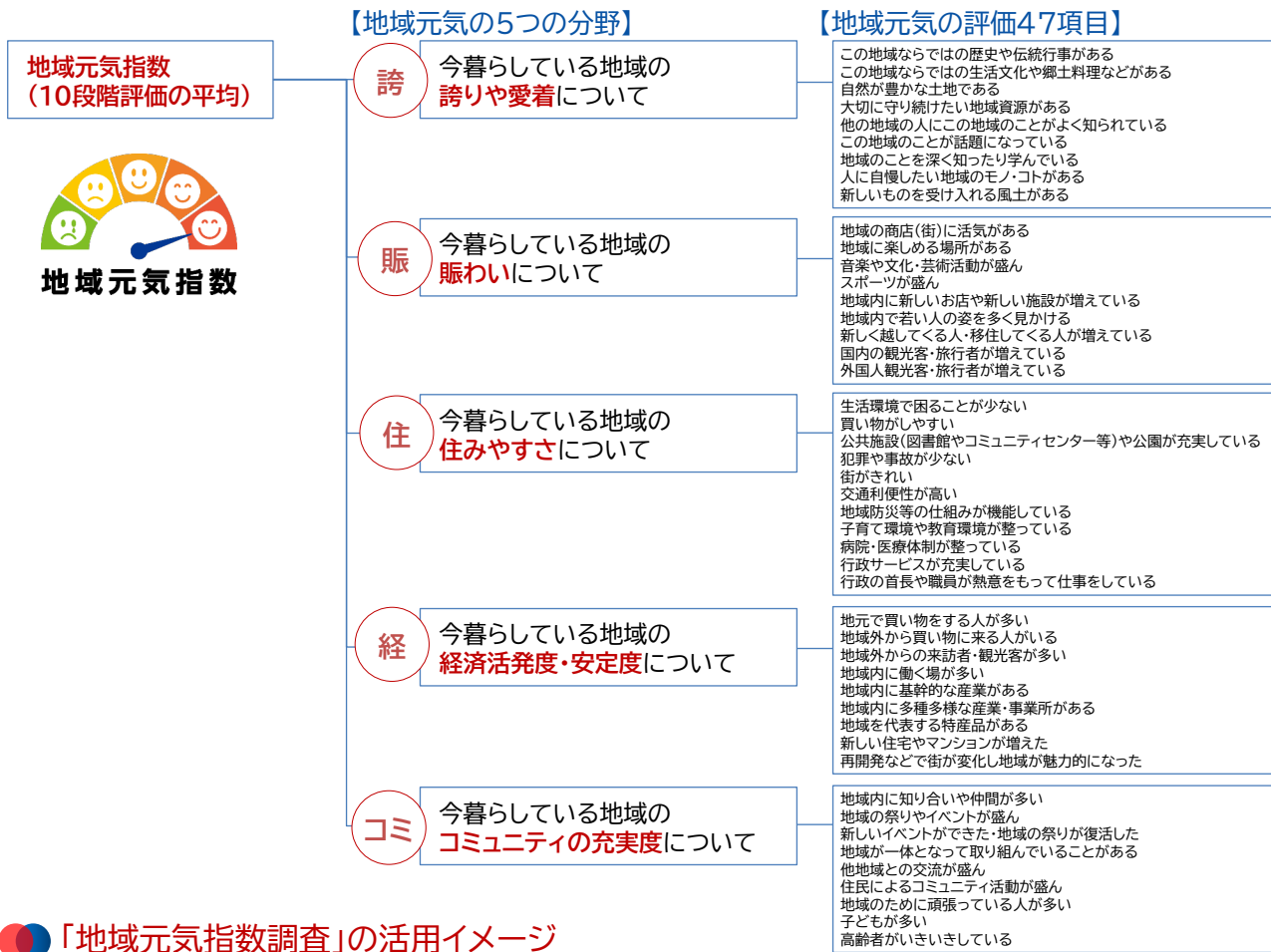
住民自身による評価を「見える化」し、全国における位置や経年変化を把握することのできるユニークな基礎調査として、学術研究分野や国・地方公共団体の施策立案などで活用されています。

調査概要

- 【調査方法】 インターネットによる調査(マクロミルモニター)
【調査対象】 全国20～69歳の男女
【調査時期】 2021年8月6日～8月10日
【サンプル数】 1次調査 100,000人
【集計方法】 令和2年国勢調査速報に基づき、全国の市区町村人口規模別30区分×男女×年代3区分＝180区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行った。*集計時に市町村別の性年代別人口は公表されていないため、性年代別の構成比は平成27年国勢調査を充てた。

「地域元気指数」の構成要素

「地域元気指数(地域元気度)」は、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気を1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。また、郷土愛や経済、住民交流など5分野全47項目にわたる設問「地域元気の評価要素」を通じ、地域元気度の源を探る手がかりを提供しています。



「地域元気指数調査」の活用イメージ

本調査結果は、都道府県別・市町村別にアウトプットし、各地域の地域運営に資する有益なデータとして活用していただくことが可能です。例えば、地域元気の評価47要素を詳細に分析することによって、各地域の元気を支える要因や、弱い項目＝地域課題を明らかにし、これからの施策立案や地域住民との相互理解に役立てることが出来ます。また、経年調査であることから、施策のKPI(重要業績評価指標)のひとつとして、効果検証や進捗管理等への活用も期待できます。

株式会社アール・ピー・アイのご紹介

アール・ピー・アイは「まちづくり」を中心とした、調査・コンサルティング・事業プロデュース・運営サポートを行う会社です。私たちは地域づくりのさまざまな分野、場面において、地域が抱えるテーマに対し、ともに最適解を導きだし課題を解決する、グッドパートナーとしてチカラになることを目指しています。私たちは、地域を元気にし、より多くの人々が幸福な生活をおくることのできる地域社会の実現に向けて、これからも労を惜みず、情熱をもって努力し続けます。

地域を元気にしたい。
RPI Regional Planning Institute